

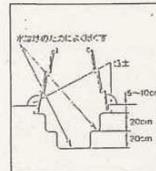
家庭から出たごみを土と混ぜることによって、土の中の微生物等の働きにより、たい肥に変えるお手伝いをするものです。

### ①設置場所



なるべく日当たりの良い土の上に設置してください。  
 【コンクリート、アスファルトの上では使えません】  
 しかし日陰になっても水ハケの良い土の上であれば構いません。以上を考慮して台所に近い庭のかた隅に設置すると良いと思います。更に付け加えるなら、コンポスター内が一杯になったとき移し変える場所もあらかじめ考慮しておくことも大切な場所選びのポイントです。

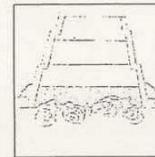
### ②設置方法



場所が決まったら、容器を置き外周をガイドにして円を描き5~10cmを平らに掘り込んでください。さらに左図のように中央部を20~40cm掘り込みますと生ゴミの減量を早め長期にわたりご使用いただけます。掘り起こした土は容器

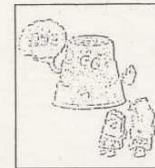
の周囲に盛土をして足で踏み固めて設置は完了です。

### ③生ごみの発行と原料について



土中微生物(バクテリア)の働きで生ゴミは発酵分解してゆきます。したがって土の補給を必要とします。コンポスト無臭元をご利用すればなお良い結果がえられます。生ゴミは65~85%が水分ですから自重でつぶれつつ水分は土中へ吸収されて行きます。この結果毎日ゴミを入れても中々一杯にならずに6~12ヶ月ぐらいのあいだ移設することもなく使用できるのです。

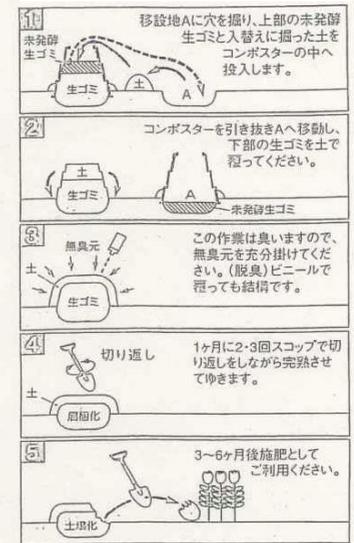
### ④日常の管理と週間の管理



生ゴミの水切りは十分にしてください。ガラス、プラスチック類は投入しないでください。台所から出る生ゴミだけですと水分が多くなってきますので1週間ぐらい毎に水分調整と発酵促進のために土入れや庭から出る剪定小枝や枯

れ草等を入れてください。コンポスト無臭元をご利用すればなお良い結果がえられます。

### ⑤コンポスターが一杯になったら(移設)



### ⑥上手な堆肥の作り方



台所からの生ゴミは澱粉や糖類また水分が多いので発酵分解が早く、ゴミの処理減量には良いのですが、堆肥を生産するには適した材料とは云えません。このことは生ゴミ類だけでは分解により酸性になりやすく、水分が多いので嫌気性発酵になり、べつついた腐植で悪臭が強いものになります。

したがって堆肥作りを主目的としてコンポスターを使用するには、セルロース分の多い芝の刈り屑、落ち葉、剪定小枝、雑草等の庭ゴミを積極的に混入してください。

生ゴミ分解による酸性化は石灰ちっ素を振りかけることで中和させ、バクテリアの繁殖活動を助けます。また、庭ゴミは好気性発酵に大変役立ちます。

更に、土を入れて土中微生物の補給、コンポスト無臭元の散布で堆肥化は効率的になります。

毎日入れても一杯にならない

秘密はここ

コンポスター内で生ゴミの減っていくようす。

第1週(7日目)      第3週(21日目)

第6週(42日目)      第10週(70日目)

土入れ

台所で発生する生ゴミ65~85%は水分と言われています。投入された新しい生ゴミは下部の古い生ゴミを押し潰し水分は地中へ吸収されます。又地中のバクテリアの働きにより有機質のゴミは発酵、分解をし、その容積が大巾に減りますから上図で示す様に、中々一杯になりません。

### ポイント

- ・日当たりや水はけ、風通しの良い所に設置しましょう。
- ・天気の良い日はフタを開けて通気をよくしましょう。
- ・水分調整をしっかりと行わないと悪臭が発生します。土入れや庭から出る小枝等を入れましょう。
- ・生ごみは細かく刻んで入れると虫がわきにくくなります。
- ・うじ等が発生した場合は熱湯や石灰で殺虫しましょう。